

不安を抱える女性に寄り添う，女性活躍社会に向けたレジリエンス強化事業 【北海道旭川市】

地域の実情と課題

- ・コロナ禍において影響を受けやすい就労状況
女性就業者の約7割が感染リスクが高い医療・福祉や卸売り・小売業と、経済的な被害が大きい宿泊業・飲食サービス業のいずれかに従事している。
- ・地域社会から孤立しやすい女性の増加
進学・就職を機に転入する若年女性が多く、町内会未加入、オンライン化、失業等によりつながりを持ちにくい状況が発生している。

事業の特徴

- ・出張相談会の開催による，地域に出向いた相談の実施。
- ・他の民間団体や関係機関等のほか，社会福祉協議会の既存事業や民生員・児童委員との連携による対象者の把握が可能。
- ・社会福祉協議会が持つ知見を生かした支援の実施。

事業の効果

事業目標及び事業KPIいずれも目標値を下回ったが，実相談人数53人に対し延べ相談件数は145件であることから，繋がった相談者に寄り添った相談対応を行うことができた。
また，相談員からの情報提供等で相談が完結するケースが多かったことから，質の高い相談対応が行えた。

目的・目標

- ・事業目標
本事業を通じて新たに支援機関に繋がった人数
目標値35人／実績値14人
- ・事業KPI
本事業を通じた新規アウトリーチ人数
目標値70人／実績値53人

連携団体

- ・民間の支援団体（No Limit旭川，ウィメンズネット旭川 等）
- ・小学校，中学校，高等学校，大学
- ・地域包括支援センター
- ・ワーカーズコープ
- ・自立サポートセンター
- ・障害者総合相談支援センター

他

今後の課題

今年度は，年度途中からの新規事業ということで関係機関との関係構築や事業周知に時間がかかった。次年度は今年度の事業で築いた地域で活動する市民団体や関係機関とのつながりを生かした対象者の把握を行うと共に，相談を必要とする女性に伝わるようなさらなる事業周知を行い，より多くの相談につなげる。

事業の概要

- アウトリーチによる不安を抱える女性からの相談業務
 - ・関係機関等からの情報提供や声かけ等により対象者を把握し相談を受ける。
 - ・地域を巡回して行う出張相談会を開催し、地域での相談対応を行う。
- 関係機関への同行支援及び支援体制の構築
 - ・対象者の相談を適切に聞き取り、必要な支援が受けられる専門機関等へ引き継ぐ。
 - ・必要に応じて各窓口へ同行する。
 - ・複数の関係機関が協力して対応する必要がある場合には、各機関の連携が図られるように連絡調整する。



出張相談会場の様子

- 専門機関等への引継ぎ後の継続的相談
 - ・対象者を専門機関等へ引き継いだ後も、適宜対象者の経過について確認するとともに必要に応じて継続的な相談に応じる。

- 対象者に必要な生理用品の提供
 - ・対象者の把握及び相談に繋げる入り口として、必要な生理用品の提供を行う。

※昼用・夜用各1パックを1セットとして配布



配付用生理用品1セット分



受取用カード

- 本事業及び各種相談窓口の周知活動
 - ・ライナー（旭川市及び近郊自治体に全戸配布されているフリーペーパー）への広告掲載
 - ・フェイスブック、ツイッターを活用した周知の実施
 - ・生理用品と一緒に市の相談窓口を記載したチラシを配布



ライナー広告